

河合法（レプリカ法）

皮膚表面のレプリカを採取し、その形態変化から試料の皮膚刺激性を評価する方法です。

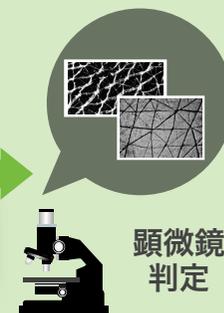
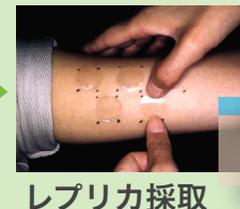


特徴

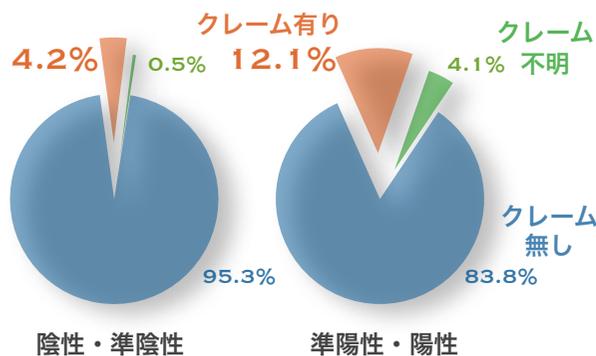
- ・判定結果と販売後のクレーム発生率を調査しているため、製品の安全性を予測するのに有用です。
- ・試料を半開放状態で貼付するため、実際の使用条件に近い状態における刺激反応を調べることができます。
- ・コントロールガーゼと試料の刺激値の差で評価するため、季節や被験者群の違いによる影響を小さくすることができます。
- ・レプリカの形態変化を観察するので、紅斑などが現れないような弱い刺激反応も調べることができます。

試験内容

被験者：健常人20名
貼付部位：上腕内側部
貼付時間：24時間
判定：肉眼判定及び
顕微鏡判定



河合法 追跡調査結果



※※陰性・準陰性のクレーム発生率が有意に低い※※
($p < 0.05$; $\chi^2 n \times m$ 検定)

河合法と閉塞法を比較した主な研究

- ・ Evaluation of skin irritancy of sodium lauryl sulphate: a comparative study between the replica method and visual evaluation
Kawai K., et al. *Contact Dermatitis* 1992, **27**, 174-181
- ・ Evaluation of human skin irritation by carboxylic acids, alcohols, esters and aldehydes, with nitrocellulose-replica method and closed patch testing
Sato, A., et al. *Contact Dermatitis* 1996, **34**, 12-16
- ・ 揮発性物質を含む製剤の皮膚一次刺激性評価法 - 河合法とクローズドパッチテストとの比較 -
奥村秀信, 他. 香粧会誌 Vol.20, No.2, 110-113 (1997)
- ・ 繊維の皮膚刺激性評価法 - 閉塞法と河合法の比較 -
出口潤子, 他. 繊維学会誌 Vol.63, No.8, 48-52 (2007)

詳細な内容やご不明な点については、お問い合わせください。

閉塞法（クローズドパッチテスト）も各種条件で実施いたしますので
ご相談下さい。